

Toi Story 9



●いよいよ大会年となりました！（Part2）

いそがしい日々になるかと思いますが、何より子どもたちや先生方の「学ばって楽しい！」「おもしろい！」につながる研究にしたいと考えています。無理をたくさん申しますが、ご協力よろしくお願いいたします。

●本校主題について

本校の主題は、「自ら考え、伝え合い、未来に向かって問い続ける子どもの育成」、副主題を「社会的事象の見方・考え方をもとにして問題発見から問題解決に向かう授業づくり」としています。県主題や本校の子どもの実態から、主題や副主題を設定し、今年で3年目の研究となりました。詳しくは9日の研修でお伝えします。

●研究内容について

主に3つの柱で研究を進めています。

- ①単元構想と振り返り
- ②判断する場面の設定
- ③考えを深める手立て



こちらも詳しくは9日の研修でお伝えします。

●1学期研究授業について

大会の研究授業クラスは、1学期中に研究授業の実施をお願いします。かたちは、小研・中研・大研問いません。ただし、中学年・高学年から1本ずつ大研をお願いします。

小研・中研 曜日や時間、教科を相談。指導案はなくても可。他の学年も参観可。

大研 中高から1本ずつ。指導案検討会あり。日程は、校内研修年間予定を参照。

学年で相談して、決定事項を長野まで教えてください。

今回の研究授業は、「見られることに慣れる」ことと、話し合いの仕方の定着を主な目的としています。話し方ナビ等を活用して、社会科だけでなく、いろんな教科で話す力を少しずつ育てていければと思っています。併せて、振り返り等の書く機会の確保もよろしくお願いします。

※学年部や授業研究部で、指導案検討や教材研究等、よろしくお願いいたします。

木曜日がすでに研修で埋まっているので、木曜日以外で指導案検討会を行うことがあるかもしれません。大変恐縮ですが、ご協力よろしくお願いいたします。

★共通理解事項

○本校はワークをとっていない。各学年、ノートを使用。ノートの形式は決めていないが、めあて（問い）や調べたこと、自分の考え、まとめ、振り返りを書くように指導。

○教室の黒板に貼ってある「三層六段階」や「めまふ」などの掲示物を活用する。（写真①）

○振り返りは、毎時間でなくても構わないが、子どもの意識がつながるように適宜活用する。

○振り返りの例をノートの表紙裏等に貼る。併せて、社会的な見方・考え方も指導し、社会科の視点からの問いが生まれるよう配慮する。（写真②、③）

○話し方ナビを前に掲示している。どの教科でも活用できるように指導する。

○めあてについて

めあては、「〇〇しよう」という活動目標を書くのが一般的であるが、社会科では「なぜ〇〇は△△なのだろう。」のように、問いのかたちで書かれることもある。どちらがよいというしぼりはないので、段階やその時間、授業者の好みで選択することが可能。（ちなみに、私は問いのかたちで書くのが好きです。4月の授業びらきのときに、「めあてと書くけれど、社会科のときは問いのかたちで書くときもあります。まとめにはその問いに対しての答え、1時間を通して問いに対して分かったことを書きましょう。」と伝えています。）

大きな目安として、導入やまとめの段階は、「〇〇しよう。」という活動目標、調べ確かめる段階は、「〇〇はどのようにになっているのだろうか。」という問い形式というふうに捉えておくことと取り組みやすい。

○まとめについて

教師が板書したまとめを書き写すのではなく、「自分で考えてまとめを書く」ということが主流になってきている。学年の発達段階にあわせて、自分でまとめができるように練習していく必要がある。中学年は、書き出しをそろえたり例を示したりしながら、だんだんと任せられるようになってとよい。高学年はまとめと振り返りを書き分けてまとめることも可能。



黒板に、三層六段階のどこなのかを示して授業します。

①社会科関係掲示物



めざせ！社会科マスター！！！！

～「なぜ」「どのように」を調べて考え、マスターになろう～

場所・位置	時間・時期	人々の関わり・はたらき
・なぜこの場所にあるのだろう。	・いつから起きているのだろう。	・なぜ続いたのだろう。
・なぜここで行われているのだろう。	・いつ始まったのだろう。	・なぜ多い（少ない）のだろう。
・どこへ行くのだろう。	・なぜ変わってきたのだろう。	・なぜ行われているのだろう。
・どのような場所にあるのだろう。	・なぜ続いているのだろう。	・どのような工夫や能力があるのだろう。
・どのように広がっているのだろう。	・どのように変わってきたのだろう。	・どのようにつながっているのだろう。
	・どのように続いているのだろう。	・どのように協力しているのだろう。

- ・くらべてみよう
- ・仲間分けしよう
- ・図に書いてみよう
- ・合わせて考えてみよう
- ・思ったことを書いてみよう
- ・自分の考えをもちよう
- ・ほんたんのことをもちよう

社会科マスター！！！！

③社会的事象の見方・考え方

社会的事象の見方から、問いが生まれるように、①場所・位置、②時間・時期、③人々の関わり・はたらきについての問いの例を示しています。

同じ時間のノートでも、板書を写すのではなく、自分で調べるとノートが変わってきます。まとめや振り返り、ノートに書き込まれた問いから次へつなげるのが理想です。

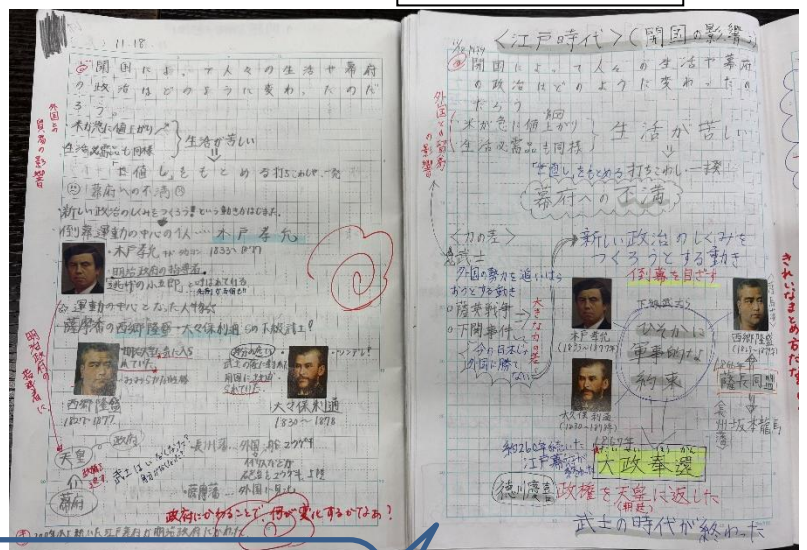
ふりかえりの仕方を工夫しよう

- 学習内容や学習方法について自覚する
 - 今日の学習でわかったことは、・・・
 - 今日の私の結論は、・・・
 - いいなと思った友達の調べ方は、・・・
 - 今日の調べ方では、・・・
- 自分の変化を自覚する
 - 学習前は、・・・
 - 学習後は、・・・
 - はじめは、〇〇と思っていたけど、・・・
 - 〇〇さんの意見を聞いて、・・・
- これらのことと自分について考える
 - まだわからないことは、・・・
 - 気になったのは、・・・
 - これらの〇〇は、・・・
 - これから自分は、・・・

学んだことから、キーワード
を見つけて書けるといいね！



②振り返り 例



④ノート 一例